



伝統を引き継ぎ命をつなぐ

9/18

ふ化したアカウミガメの受け入れ式が、40年近く子ガメの飼育活動に取り組む御前崎小学校で実施されました。本年は、御前崎海岸に上陸・産卵するアカウミガメが激減。飼育を担当する4、5年生約80人は、市ウミガメ保護監視員6人から貴重な25匹の子ガメを託されると「大切に育てていきたい」と約束しました。

◀ウミガメ保護監視員から子ガメの扱い方を教わる児童



龍神へ赤飯を供える納櫃祭

9/23

遠州七不思議の一つであり、県の無形民族文化財に指定されている「桜ヶ池^{のうひつ}納櫃祭」が、池宮神社で開催されました。これは約840年続く奇祭で、14人の氏子が奉納された70櫃^{ほうじょう}を一つずつ池の中央へと運び、底へ沈めて五穀豊穡を祈願しました。お櫃が沈められる度、来場者から拍手が送られました。

◀立ち泳ぎで赤飯が詰まったお櫃を運ぶ



違いに配慮した支援を論考

9/26、27

「女性のための防災・減災リーダー養成講座」が原子力広報研修センターで開催されました。この講座は、女性が積極的に防災・減災の場に参画できるようにと3年前から開催されています。今回は、市内外から約60人が参加して、災害時の女性の避難生活や支援物資などの問題について知識を深めました。

◀性別や立場別に避難所で必要なものについて意見を出し合う



あま〜い秋の味覚を楽しむ

9/28

松林久次さん(上岬区)のブドウ園で、浜岡保育園とさくらこども園の年長園児がブドウ狩りを体験しました。この体験は、「地域の子どもたちにブドウ狩りを楽しんでもほしい」という松林さんの善意で毎年実施されており、園児たちは大きなブドウを頬張ると「甘くておいしい」と満面の笑みを見せました。

◀大きな実が付いたブドウに大満足の園児たち